

年 組 名前：



市の間伐材を活用した名札ケース＝都留市役所

間伐材名札ケースに再生

都留市は、市内の間伐材を使った名札ケースを作った。ストラップ

都留市 職員に配布 ストラップは織物生地

市産業課によると、市内の森林で間伐後に放置された木材の活用策として企画。間伐材で額縁などを製造する遠山木工所（富士吉田市上郷地）がケースを製作した。都留市谷村地区の壁や塀を黒色に統一し、城下町の趣を再現しようとする市の事業に合わせ、名札ケースも黒色に設定。縦7センチ、横11センチで、名刺がちょうど収まるサイズとした。市の織物も宣伝するため、ストラップ部分にはネクタイ製造販売のリード（都留市法能）のネクタイ生地を取り入れた。市は試作品を約100個用意し、一部の市職員に配布。職員からの評価が高ければ、販売品として道の駅つるに出品するほか、市のふるさと納税の返礼品に加えることも検討する。市産業課の担当者「都留市ならではの要素が詰まった名札ケースになっている。うまく活用することで市内の山林の健全化を図りながら、市のPRにもつなげたい」と話している。

(2021年3月16日付 山梨日日新聞 21面)

問1 間伐材を使った名札ケースの大きさは「縦(A)センチ、横(B)センチ」で、ストラップ部分には市内の業者から取り寄せた「C」を使用しています。A～Cに入る数字や言葉は何ですか。

① 「 A 」 ② 「 B 」 ③ 「 C 」

問2 名刺ケースを黒色にした理由は何か、記事から抜き書きしてください。

問3 市は、名刺カードによって「間伐材の有効利用」と「市のPR」につなげたいとしています。

ひとつのことで二つの目的を同時に果たすという意味の四字熟語は何か、辞書などで調べ、

次のうち正しいものすべてに○を付けてください。

「 」 唯一無二 「 」 一朝一夕 「 」 一石二鳥

「 」 一挙両得 「 」 二者択一